

2021年度 事業報告書

2021年4月1日から 2022年3月31日まで



公益社団法人日本オリエンテーリング協会

[I] 法人の概要

当協会は、2012年6月4日付けで公益社団法人の認定を受け、同日設立登記を行った。
この事業報告は、公益社団法人として第10期の事業報告となる。

1. 設立年月日

公益社団法人	2012年6月4日
社団法人	1991年4月26日
協会設立	1990年7月1日

2. 定款に定める目的

この法人は、我が国におけるオリエンテーリングを統括し、代表する団体として、オリエンテーリングの普及及び振興を図り、もってアウトドアスポーツの健全な発展に貢献するとともに、国民の心身の健全な発達に寄与することを目的とする。

3. 定款に定める事業

- (1) オリエンテーリングの普及及び指導に関する事業
- (2) オリエンテーリング競技会の開催及び公認に関する事業
- (3) オリエンテーリングの競技力向上に関する事業
- (4) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

4. 会員に関する事項

(1) 会員数		
正会員数	計37会員	[36都道府県、日本学連]
(2) 指導員・競技者登録・コントローラ登録数		
ディレクタ1級指導員数	70名	(2020年77名)
ディレクタ2級指導員数	120名	(2020年130名)
インストラクタ指導員数	80名	(2020年94名)
ナビゲーション・インストラクタ	49名	
競技者登録数	2183名	
IOFイベントアドバイザー	10名	
イベントアドバイザー登録数(フット)	33名	
准イベントアドバイザー登録数(フット)	0名	
イベントアドバイザー登録数(トレイル)	18名	

5. 都道府県のオリエンテーリングを統括する会員(2021年度末現在)

北海道オリエンテーリング協会	堀井 学
岩手県オリエンテーリング協会	三ヶ田礼一
宮城県オリエンテーリング協会	岡本和広
秋田県オリエンテーリング協会	小山由男
福島県オリエンテーリング協会	加藤一郎
茨城県オリエンテーリング協会	石井邦一
栃木県オリエンテーリング協会	岡崎良昭
群馬県オリエンテーリング協会	津金沢民男
(特非)埼玉県オリエンテーリング協会	福原正三
千葉県オリエンテーリング協会	奥田健史
東京都オリエンテーリング協会	杉本光正
神奈川県オリエンテーリング協会	碓井 進
新潟県オリエンテーリング協会	笛木勉
石川県オリエンテーリング協会	不破大仁
福井県オリエンテーリング協会	奥居稠朗
山梨県オリエンテーリング協会	酒井 寛
長野県オリエンテーリング協会	美谷島孝
岐阜県オリエンテーリング協会	大場尊美
静岡県オリエンテーリング協会	坂本太郎
(特非)愛知県オリエンテーリング協会	新帯 亮
三重県オリエンテーリング協会	小坂平和
滋賀県オリエンテーリング協会	古津和夫
京都府オリエンテーリング協会	市橋国之
大阪府オリエンテーリング協会	北川達也
兵庫県オリエンテーリング協会	尾上俊雄
奈良県オリエンテーリング協会	奥野信亮
和歌山県オリエンテーリング協会	山下直也
島根県オリエンテーリング協会	森山健一
岡山県オリエンテーリング協会	千田博通
広島県オリエンテーリング協会	伊東博司
山口県オリエンテーリング協会	渡邊正次

徳島県オリエンテーリング協会
香川県オリエンテーリング協会
愛媛県オリエンテーリング協会
福岡県オリエンテーリング協会
宮崎県オリエンテーリング協会
日本学生オリエンテーリング連盟
加盟していない県

林 和志
松井繁成
河野忠康
渡辺智博
小八重善裕
河合利幸

青森県、山形県、富山県、鳥取県、高知県、長崎県、佐賀県、大分県、熊本県、鹿児島県、沖縄県

6. 役員等に関する事項(2021年度末現在)

(理事括弧内はブロック選出区域等を表す)

代表理事/会長(学識経験者)	堀井 学
代表理事/副会長(学識経験者)	愛場 庸雅
代表理事/副会長(学識経験者)	前田 真理子(大里真理子)
業務執行理事(学識経験者)	鹿島田 浩二 [競技力担当]
業務執行理事(東海B)	新帯 亮 [総務担当]
業務執行理事(学識経験者)	村越 真 [普及、技術担当]
業務執行理事(首都圏B)	奥田 健史
理事(北海道・東北B)	廣田 雅幸
理事(北関東B)	佐藤 大樹
理事(首都圏B)	宮川早穂(衆 早穂)
理事(北信越B)	小林 力
理事(近畿B)	楠見 耕介
理事(中国・四国・九州B)	吉村 年史
理事(学識経験者)	茅野 耕治
理事(学識経験者)	加納 尚子
理事(学識経験者)	山本 陽子(間瀬 陽子)
理事(首都圏B)	高島 和宏
理事(学識経験者)	瀬川 出
理事(学識経験者)	谷野 文史
理事(日本学連選出)	若月 俊宏
監事	齋藤 和助 (税理士)
監事	尾上 秀雄
監事	中川 義宏 (弁護士)
名誉会長	山西 哲郎

7. 事務局に関する事項(2021年度末現在)

臨時職員 8名 小野賢二 高村 卓 清水由布子 信原 靖 上松典子
杉本光正 利光恵美 山本 賀彦

8. 社員総会、理事会等に関する事項

(1) 社員総会

日時 2021年6月5日(土)

会場 東京文化会館での対面及びリモート参加によるハイブリッド形式で開催した。

議題

審議事項

第1号議案 2020年度事業報告書案及び財務諸表案について

質疑応答後、賛成35名(出席者 23、議決権行使 1、委任状(議長委任)11)、反対0名で承認された。

第2号議案 定款の一部に改訂について

現行	改訂案
第20条 この法人には、次の役員を置く。 (1) 理事 12名以上20名以内(うち会長1名、副会長2名) (2) 監事 2名	第20条 この法人には、次の役員を置く。 (1) 理事 12名以上20名以内(うち会長1名、副会長2名) (2) 監事 2名以上3名以内

質疑応答後、賛成35名(出席者 23、議決権行使 1、委任状(議長委任)11)、反対0名で承認された。

第3号議案 理事・監事の承認について

【理事】

再任

奥田健史 宮川早穂 小林 力 新帯 亮 楠見耕介 谷野文史 愛場庸雅 大里真理子
茅野耕治 瀬川 出

新任

廣田雅幸 佐藤大樹 吉村年史 若月俊宏 村越 真 加納尚子 間瀬陽子 鹿島田浩二
高島和宏 堀井 学

【監事】

再任

齋藤和助 尾上秀雄

新任

中川義宏

質疑応答後、賛成35名(出席者 23、議決権行使 1、委任状(議長委任)11)、反対0名で承認された。

(2)理事会 [各理事会の詳細については議事録参照(JOA-WEB掲載)]

第28回理事会

日時 2021年5月8日(土) 13:00-17:00

会場 事務局及びweb会議(Zoom)

議題

審議事項

第1号議案	2020年度事業報告書案、収支決算書案	審議・全会一致で承認
第2号議案	定款の一部改訂(監事の定員)について	審議・全会一致で承認
第3号議案	2021、22年度理事・監事候補者案	審議・全会一致で承認
第4号議案	公認大会改革実行プランについて	審議・全会一致で承認
第5号議案	持続化給付金の配分について	審議・全会一致で承認
第6号議案	アジア・ワーキンググループへの名称変更提案	審議・全会一致で承認
第7号議案	将来構想委員会設立	審議・全会一致で承認
第8号議案	委員会委員の追加、交代	審議・全会一致で承認
第9号議案	規程確認ワーキンググループ設立	審議・全会一致で承認

第29回理事会

日時 2021年6月5日(土) 15:30 - 16:30

会場 東京文化会館での対面及びリモート(Zoom)参加

議題

審議事項

第1号議案	2021-2022年度役員選任	審議・全会一致で承認
第2号議案	名誉会長の選任	審議・全会一致で承認
第3号議案	WMG2021関西JOA実行委員会のメンバー追加	審議・全会一致で承認
第4号議案	日本ランキング規則の承認について	審議・全会一致で承認

第30回理事会

日時 2021年8月29日(日) 13:00-17:00

会場 Zoomによるオンライン会議

議題

審議事項

第1号議案	JOAホームページSSL化対応について	準備不足により取り下げ(次回理事会上程予定)
第2号議案	2021年度全日本大会(ミドル・ロング)事業者発注について	審議・全会一致で承認
第3号議案	日本ランキング規則改定について	審議・全会一致で承認
第4号議案	JSC助成金の配分について	審議・全会一致で承認
第5号議案	スキーO委員会新任委員の推薦について	審議・全会一致で承認
第6号議案	第30回全日本リレー代替開催について	審議・全会一致で承認
第7号議案	ガバナンスコード対応のための倫理規定の改訂	審議・全会一致で承認
第8号議案	委員会規定の改定(小委員会の設置)	審議・全会一致で承認
第9号議案	指導員制度の再編	審議・全会一致で承認
第10号議案	競技委員会の委員の退任・新任について	審議・全会一致で承認
第11号議案	普及教育委員会の改編	審議・全会一致で承認
第12号議案	女性委員会の委員・委員長交代について	審議・全会一致で承認

第31回理事会

日時 2021年12月5日(日) 13:00-17:00

会場 Zoomによるオンライン会議

議題

審議事項

第1号議案	ホームページSSL化および保守契約会社変更について(審議・賛成14、棄権3により承認
第2号議案	個人情報管理規程の改定	審議・賛成14、棄権3により承認
第3号議案	スポーツ仲裁に関する申し合わせ改訂について	審議・賛成16、棄権1により承認
第4号議案	危機管理・コンプライアンス委員会規程について	審議・賛成16、棄権1により承認
第5号議案	全日本リレー企画運営WG設置	審議・賛成15、棄権2により承認
第6号議案	倫理規程の一部改訂について	審議・賛成16、棄権1により承認
第7号議案	全日本委員会委員追加について	審議・賛成15、棄権2により承認
第8号議案	JOC準加盟について	審議・賛成16、棄権1により承認
第9号議案	地域活性化委員会委員追加について	審議・賛成15、棄権2により承認
第10号議案	イベントディレクターの登録費とその配分について	審議・賛成16、棄権1により承認
第11号議案	普及・指導委員会委員の推薦	審議・賛成16、棄権1により承認

第32回理事会

日時	2022年2月27日(日) 13:00-18:00	
会場	Zoomによるオンライン会議	
議題	審議事項	
	第1号議案	2022 年度事業計画案の承認 審議・全会一致で承認
	第2号議案	委員会規程改訂の承認 審議・全会一致で承認
	第3号議案	アスリート委員会規程制定の承認 審議・全会一致で承認
	第4号議案	委員候補者選考規程制定の承認 審議・全会一致で承認
	第5号議案	役員候補者選考規程制定の承認 審議・全会一致で承認
	第6号議案	役員の内任年齢に関する規程廃止の承認 審議・全会一致で承認
	第7号議案	危機管理マニュアル制定の承認 審議・全会一致で承認
	第8号議案	決議の省略についての申し合わせ制定の承認 審議・全会一致で承認
	第9号議案	第30 回全日本リレー大会の開催可否および日程の協議 審議・全会一致で承認
	第10号議案	アンチ・ドーピング規程改定の承認 審議・全会一致で承認
	第11号議案	代表選手選考規程制定の承認 審議・全会一致で承認
	第12号議案	指導員規程改定の承認 審議・全会一致で承認
	第13号議案	パーマネンコース規程改定の承認 審議・全会一致で承認
	第14号議案	スキーO 世界選手権誘致ワーキンググループ設置の承認 審議・全会一致で承認
	第15号議案	日本ランキング規則改定の承認 審議・賛成16、棄権1により承認
	第16号議案	全日本大会エリートクラス出場資格規則改訂の承認 審議・全会一致で承認
	第17号議案	第30回理事会第4号議案『令和3年度JSC 助成金配分』決議の取り消しを求める 審議・賛成4名、反対13名、棄権0名で否決

第33回理事会

日時	2022年3月17日(木) 20:00-21:30	
会場	Zoomによるオンライン会議	
議題	審議事項	
	第1号議案	2022年度予算案の承認 審議・全会一致で承認
	第2号議案	日本オリエンテーリング選手権(リレー競技)実施基準改正の承認 審議・全会一致で承認
	第3号議案	日本スポーツツーリズム推進機構加盟の承認 審議・全会一致で承認

(3)業務執行理事連絡会 (主たる協議事項)

第1回	2021年4月30日(金) 20:00～	リモート(Zoom)開催
	改選役員候補について	
第2回	2021年7月4日(日) 16:00～18:15	リモート(Zoom)開催
	業務執行理事連絡会の今後の進め方 委員会、WGの管掌について	
第3回	2021年8月22日(日) 16:00～18:50	リモート(Zoom)開催
	第30回全日本リレー代替開催について JSC助成金の配分について	
第4回	2021年11月17日(水) 20:00～22:00	リモート(Zoom)開催
	ホームページSSL化および保守契約会社変更について 全日本リレー企画運営WG設置	
第5回	2022年2月15日(火) 20:00～23:00	リモート(Zoom)開催
	第30回理事会第4号議案『令和3年度JSC助成金配分』 決議の取り消しを求める件	

9. Official Partner

株式会社ニチレイ、株式会社リテラメッド、かなめ測量株式会社、株式会社アークコミュニケーションズ、サルミングジャパン、株式会社デサント、株式会社ブライトコンパス

〔Ⅱ〕 2021年度の事業

【公益目的事業1】 普及指導に関する事業

1. 指導者養成、資格認定・登録

- ・ディレクター1級、2級講習会は実施されなかった。
- ・インストラクタ養成講習会は、徳島と岐阜で計画されたが岐阜はコロナ禍で中止となった。徳島は2021/12/18、12/19で開催された。
- ・ディレクター・インストラクターの資格審査、認定・登録を行った。
- ・ナビゲーションインストラクターにオンライン講習を3回実施した。7名受講。
- ・ナビゲーションインストラクター「ブロンズ講習」を各地で4回開催した。58名認定。
- ・ナビゲーションインストラクター「シルバー講習」を開催した。9名認定。
- ・イベントアドバイザーオンライン研修会を2回予定したが開催は1回だった。(2021/9/18、JOA事務局会議スペースを利用して開催)
- ・日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度への移行講習会が開催された。
2021年8月8日国立オリンピック記念青少年総合センターにてコーチ1養成講習会開催。
2021年9月20日江東区文化センターにてコーチ2養成講習会開催。

2. 常設コース

- ・2022年3月、愛媛県総合運動公園で新規パーマネントコース登録を行った。
- ・会員からの常設コース情報をWEBにて発信した。2021年度廃止が1コースあった。
- ・ネットプリント 現在68コースが稼働している。(2022年3月、石川県で15コース新規登録した。)
- ・常設コースの新たな活用方法については検討されなかった。

3. 距離認定

- ・100キロコンペ申請に対して走歩距離認定を行った。 [申請数233件]

4. 普及及び受託事業

- ・普及に関する研修会・講習会を開催した。
- ・活動が低迷している会員に対しての活動は、地域在住のオリエンティア間の情報交換を活発にするに留まった。
- ・加盟していない県組織に対しての加盟への働きかけは出来なかった。
- ・民間企業等からの受託事業推進活動は出来なかった。
- ・野外活動施設、民間企業への普及活動は出来なかった。
- ・ワールドオリエンタリングデイの実施を推進したが、学校教育への新たな導入への方策については未対応となった。
- ・執行理事による高校登山部への連携を強化し若い年代のナビゲーション活動の活性化を図った。
- ・大学教育への取り入れについて調査研究と情報提供の活動は未実施だった。
- ・OMM(オリジナルマウンテンマラソン)等の競技主管を受託した。

5. 広報

- ・指導者、競技者、寄付・協賛者等に対しての情報提供として、JOAニュースを2回発行した。
- ・ホームページを維持管理し、情報発信を行った。
- ・理事会・事務局便りを27号から31号まで発信した。
- ・Facebook、Twitterにて情報発信を行った。
- ・プレスリリースを随時実施した。
- ・普及から競技力向上に至る様々のテーマでのリモートセミナーを開催した。(23回、延べ983名)

6. 地域活性化委員会

- ・会員から申請のあった会員支援金申請に対する審査及び回答書を作成し、15会員に助成した。
- ・昨年度に引き続き、九州地区での体験会開催などを計画していたが新型コロナの影響もあり、今年度の開催を断念。今後、再開すべく開催候補地の下見を地元ランナーサポート団体と行った。(鹿児島2か所、大分1か所)
- ・九州支援サイトを更新し、だれもがニュース(ブログ)を掲載できるようにした。
- ・茨城、砂沼での地域行政と連携したOL体験会を開催。
- ・各県協会主催大会(福岡、山口)の模様や地域活性とOLを結びつける事例として愛知県設楽町の事例をJOAニュースや九州応援サイトで広報した。
- ・地域とつながりのあるオリエンティアとの連絡をとるため、競技登録者情報を各県協会でも活用しやすくするため個人情報管理規程を改定した。

【公益目的事業2】 競技会の開催及び公認に関する事業

1. 全日本大会を主催した。

2021年10月23日	第10回全日本ミドルO大会 [WRE対象大会]	長野県長和町	748名
10月24日	第48回全日本大会 [WRE対象大会]	長野県長和町	692名
12月5日	第30回全日本リレーO大会	三重県亀山市	「コロナ禍」により中止
2022年2月11日	全日本スキーオリエンタリング大会 スプリント	岩手県八幡平市	15名
2月12日	全日本スキーオリエンタリング大会 パシュート	岩手県八幡平市	14名
2月19日	全日本スキーオリエンタリング大会 ミドルディスタンス	北海道留寿都村	16名
2月20日	全日本スキーオリエンタリング大会 スプリントリレー	北海道留寿都村	16名

2. 会員よりの大会の申請を受け公認した。

総計1,853名の参加を得た。

【フットO】【カテゴリF】

2021年5月16日 富士山麓大会	静岡県	「コロナ禍」により中止
6月12日 姫木ミドル大会	長野県	473名
7月10日 札幌OLC大会(ミドル)	北海道	110名
7月11日 札幌OLC大会(ロング)	北海道	112名
11月6日 WMG2021 関西プレ 香美大会	兵庫県	151名
11月7日 WMG2021 関西プレ 神河大会	兵庫県	137名
2022年3月19日 京大京女立命館大会	三重県	320名
3月21日 大阪OLC45周年記念大会	大阪府	188名

【カテゴリS】

2021年6月20日 栃木県協会大会	栃木県	49名
2022年1月9日 第88回上尾OLC大会	埼玉県	148名
3月20日 パークO関西滋賀	滋賀県	165名

3. 国際大会の開催

- ・国際大会としての国内での開催はなかった。
- ・WRE対象大会として以下の大会を実施した。
第10回全日本ミドルオリエンテーリング大会、第48回全日本ロングオリエンテーリング大会

4. その他の競技会を主催・共催した。

- ・ナビゲーショントーナメントシリーズ2021(22会場、うち中止2会場) 賛同する団体と共催 延1,927名

5. 賠償責任保険及び傷害保険

- ・株式会社保険代理店と引き続き加入した。
- ・JOA主催大会及び、申請を受けた公認大会等への傷害保険を適用した。(5件の申請を受けた)

6. 規程・規則等(改訂日はすべて2021/4/1)

日本オリエンテーリング競技規則
競技規則および関連規則類のガイドライン
日本オリエンテーリング選手権(個人競技)実施基準
公認大会開催に関する規則

7. アンチ・ドーピング

- ・ドーピング検査 日本アンチ・ドーピング機構が実施したドーピング検査に協力した。
- ・JOAオンライン講習会としてアンチ・ドーピング研修会を実施した
7月13日 参加者28名 20:00-21:00 講師:栗林尚志(JADA教育トレーナー)
- ・日本アンチ・ドーピング機構の協力を仰ぎ教育啓発活動をおこなった
JADA、J-Fairnessの検査、教育活動に対応するため会議・研修会に参加した。
第1回アンチ・ドーピング教育会議(6月8日)
第2回アンチ・ドーピング教育会議(11月5日)
アンチ・ドーピングフォーラム(11月5日)
アンチ・ドーピング体制整備に関する説明会(12月6日)
クリーンスポーツ・ライブウェビナー
『2022 禁止表国際基準と TUE 申請のポイント』(12月7日)
『JADA RTP/TP 新制度』説明会(12月13日/22日)
- ・全日本大会プログラムでの啓発広告の掲載
- ・日本学連への啓発活動
インカレ競技規則改正においてアンチ・ドーピングに関する助言をした。
- ・日本スポーツフェアネス機構、日本アンチ・ドーピング機構と連携し国内でのアンチ・ドーピング活動に協力した
- ・JOAアンチ・ドーピング規定の改正を行った

8. 競技者登録

- ・2021年度登録を実施し、登録者への情報提供を行った。(前年度対118%)
[男性1,623名、女性560名、計2,183名(内、学生 1175名、U18/ 94名、U15/ 171名)]

【公益目的事業3】 III 競技力向上事業

1. 選手・役員のパイプ

- ・フットオリエンテーリング
WOC[2021年7月3日～9日 チェコ]へ選手・役員を派遣した。
JWOC[2021年9月5日～10日 トルコ]へ選手・役員を派遣した。
(AsJYOC[2021年12月25日～27日 香港]はコロナにより2023年に延期のため、2021年は派遣せず)

- ・スキーオリエンテーリング
WSOC[2022年3月14日～19日 フィンランド]へ選手4名・役員1名を派遣した。
JWSOC[2022年3月14日～19日 フィンランド]へ選手1名・役員1名を派遣した。
EYSOC[2022年3月14日～19日 フィンランド]へ選手1名(オープン参加)を派遣した。
WC[2022年1月21日～27日 ブルガリア]へ選手1名を派遣した。
(冬季ユニバーシアード[2021年12月 スイス]は、コロナにより中止のため、派遣せず)

- ・マウンテンバイクオリエンテーリング
MTBO世界選手権チーム派遣(渡航制限のため派遣できず)
MTBOマスターズ世界選手権、欧州ジュニアユース選手権 チーム派遣

- ・トレイルオリエンテーリング
世界トレイルオリエンテーリング選手権大会はコロナ禍により中止

2. 強化委員会

- ・選考会、JOA合宿等の開催
2021年4月3日(土)～4日(日) JOA合宿 静岡県
4月10日(土) WOCスプリント選考会 静岡県
4月11日(日) WOCフォレスト、JWOC選考会 静岡県
5月1日(土)～3日(祝) JOA合宿 栃木県
5月29日(土)～30日(日) JOA合宿 山梨県
6月13日(日) スプリント練習会 長野県
6月19日(土)～20日(日) JOA合宿 静岡県
8月10日(火)～11日(水) JWOC選手対象練習会 岐阜県
12月5日(日) スプリント記録会 岐阜県
2022年1月22日(土)～23日(日) JOA合宿 静岡県

3. スキーO委員会

- ・強化活動
強化選手の指定
2022年より運用開始できるよう規定を整えた。
強化合宿の開催(残雪期、夏期、秋期、冬期)×6回程度
秋期、冬期に合計6回の強化合宿を実施(一部予定)
フット強化合宿への参加支援
未実施
- ・代表用具の整備
日本代表ウェアの整備を行った
競技用具の整備
未実施。
- ・代表選手教育
マナー、ドーピング、インテグリティ、代表選手規範の教育
未実施(一部範囲を限定して実施済み)
- ・指導者講習会を3回開催した
- ・委員会組織体制の強化のため、規定作成に伴う委員会体制について検討を行った
- ・2026年世界スキーオリエンテーリング選手権大会の日本開催招致活動の準備を開始した

4. MTB-O委員会

- ・国内強化活動として、コロナ禍でも24回のイベントを開催した
- ・ローラーチャレンジ等、MTBO体験会開催 4回、のべ約30名参加
- ・世界選手権については、新型コロナウイルスの影響による渡航制限により中止となった。
- ・語学力向上の為、Duolingoを実施。6名
- ・NaviTaviの国際的プロモーション活動を継続的に実施
- ・パンフレットを約800部作成し、自転車界、アウトドア界、学生オリエンティアに配布した。
- ・ISMTBOM 2022, ISSprOM2019-2(2021年版)への改訂貢献
- ・IOF認証プリントサービスの認証取得をメンバーの協力を元に達成

5. トレイルO委員会

- ・第16回全日本トレイルO選手権大会は新型コロナウイルスの影響により見送った。
- ・公認大会の申請がなかった。
- ・障害者への普及活動の促進のため、トレイルO協会と協同で働きかけを継続しているが奏効しなかった。
- ・日本トレイルO競技規則の改訂を進めている。ガイドラインについては未実施。
- ・大会、普及活動とも、新型コロナウイルスの影響で活動ができなかった。

6. 競技委員会

- ・委員の改選を行った。 新任／西村直哉、田中宏明、堀 裕多
- ・委員会をメール及びリモートにより、情報共有・意見交換を随時且つ頻繁に実施。
- ・競技規則の改訂 [規程の項目に掲載]
- ・イベントアドバイザー研修会の実施 [指導者養成・資格認定等に掲載]
- ・公認大会の認可、イベントアドバイザーの任命、Eクラス推薦の審査及び記録の認定を行った。

7. 女性委員会

- ・コロナ問題により練習会、合宿の開催は見合わせ、オンラインによるセミナーを開催した
「アスリートのパフォーマンスをサポートする生理ケア」
約40名の参加(男性も含まれる)

8. 国際委員会

- ・IOFの専門委員会に委員を派遣し、IOFの活動に協力するとともに、日本の競技力向上に資することができた。
- ・IOF Global Development委員会では落合委員が活動した。
- ・2022年アジア選手権のIOF-EAアシスタントとして落合委員が活動した。
- ・JOCと連携した。 NF国際フォーラムに出席(3月14日)。他のNFとの交流を図った。
- ・IOF Global Development委員会の活動を通じてアジアでの普及に協力した

9. WMG2021実行委員会

- ・WMG状況
2022年に延期されたWMGは2026年に再延期となる。
- ・リハーサル大会
ミドル 11月6日に兵庫県香美町にて、151名が参加し開催した。
ロング 11月7日に兵庫県神河町にて137名が参加し開催した。
スプリント 12月26日に神戸市垂水区で予選、同日明石市で決勝イベントを開催、108名が参加した。
予選において体調不良で救急搬送したがその後病院で大動脈解離の為死亡事象発生。

10. 全日本オリエンテーリング大会実行委員会

- ・2021年10月23、24日の2日間で全日本ミドル、ロング大会を開催した。延べ参加人数1450名。
- ・日本ランキング(フォレスト)を整備し運用を開始した。

11. 日本スポーツ振興基金助成金報告「助成金確定報告から」

スポーツ団体選手強化活動助成	交付決定額	計
①マスターズ強化合宿	160,000	
②フットOジュニア世界選手権へのチーム派遣	160,000	
③MTB-O世界選手権チーム派遣	960,000	
④トレイルO世界選手権へのチーム派遣	240,000	
④フットO世界選手権へのチーム派遣	160,000	
⑥スキーO世界選手権選手派遣	320,000	2,000,000
スポーツ団体大会開催助成	交付決定額	計
①全日本オリエンテーリング2日間大会2021	2,000,000	
②第30回全日本リレーオリエンテーリング大会	1,200,000	3,200,000
スポーツ団体スポーツ活動助成(くじ)	交付決定額	計
①スキーオリエンテーリング講習会	2,001,000	
③スキーオリエンテーリング指導者養成講座	1,860,000	
④ドーピング検査事業	36,000	3,897,000
	合計	9,097,000

- ・世界選手権等への派遣・強化活動事業を日本スポーツ振興センターの助成申請を行い実施した。
- ・2021年度日本スポーツ振興基金の助成金は以上のように決定し活動を行った。
- ・選手強化活動の交付額の配分については、事業計画に基づいて行う。

【その他】

1. 法人部門

2020年に続き、「コロナ禍」収束の兆しが見えないことから、事務局のテレワークを継続実施した。

2. 関係諸機関等と連携を図り、普及発展に努めた。

- ・国際オリエンテーリング連盟(IOF)に引き続き加盟をした。
- ・IOF総会・委員会に代表を派遣した。
- ・2021/10/23,アジアワーキンググループミーティングに代表を派遣した。
- ・公益財団法人日本スポーツ協会に引き続き加盟をした。
- ・公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構(JADA)に引き続き加盟をした。
- ・一般社団法人日本スポーツフェアネス推進機構(J-Fairness)に加盟した。

- ・公益財団法人日本オリンピック委員会(JOC)に引き続き加盟した。
- ・野外活動団体協議会に引き続き加盟をした。
- ・一般社団法人大学スポーツ協会(UNIVAS)に引き続き加盟した。

3. 寄附金募集事業活動

寄付金維持等

29年度「税額控除に係わる申請」を行い認定された[認可日:府益担第1377号/平成29年11月20日]

[有効期間:平成29年11月20日ー平成34年11月19日]

- ・2021年度(4月-3月) 寄附金総額 3,260,458円となった。

①オフィシャルスポンサー 寄付金総額 1,200,000円

かなめ測量株式会社、株式会社アークコミュニケーションズ、株式会社ブライトコンパス
株式会社リテラメッド

②寄付者一覧(敬称略、順不同) 寄付金総額 1,604,458円(ポスタル寄付を含む)

滋賀県オリエンテーリング協会、特定非営利活動法人トレイル・オリエンテーリング協会

阿部 昌隆 岡野 英雄 結城 克哉 高津 寿三鈴 緒方 賢史 神戸 練一郎

伊藤 好信 浦瀬 太郎 加藤 高男 古津 和夫 山内 亮太 緒方 美智

伊藤 伸悟 浦瀬 香子 加藤 昭治 高橋 明美 西山 立 大塚 校市

伊藤 聡史 円井 基史 河村 尚美 高橋 洋一 酒井 佳子 大塚 ふみ子

棚橋 是之 谷口 直夫 池ヶ谷 悦朗 植松 裕子 渡辺 研也 土屋 晴彦

武藤 拓王 平島 俊次 浜田 康宏

③会員からの支援寄付金

公認大会等にて、会員支援総額は375,000円となった。

4. 表彰に関する事項

2021年度において表彰はなかった。

5. 会員との交流

- ・対話集会を開催した。

2021年6月5日 定期総会会場でオンラインも交え開催した。

附則 略称に関する注釈

大会名

WOC	世界選手権 (フット0)
JWOC	ジュニア世界選手権 (フット0)
WCup	ワールドカップ (フット0)
WMOC	マスターズ世界選手権 (フット0)
AsOC	アジア選手権 (フット)
AsJYOC	アジアジュニアユース選手権(フット)
AsTOC	トレイルOアジア選手権
WMG	ワールドマスターゲームズ
WTOC	トレイルO世界選手権
WMTBOC	マウンテンバイクO世界選手権
WSOC	スキーO世界選手権
JWSOC	ジュニアスキーO世界選手権
EYOC	ヨーロッパユーススキーO選手権
WUOC	世界学生O選手権
WUSOC	世界学生SKI-O選手権

関係機関ほか

IOF	国際オリエンテーリング連盟
JOC	日本オリンピック委員会
JISS	日本スポーツ振興センター
JADA	日本アンチ・ドーピング機構
J-Fairness	日本スポーツフェアネス推進機構
UNIVAS	大学スポーツ協会
WRE	ワールドランキングイベント